

ゴミ収集庫「ダストピット」新商品発売のお知らせ

当社では、ゴミ収集庫「ダストピット」に小型タイプ 2 機種を新発売いたしました。

記

<商品名>

ダストピット DPRA 型

◇DPRA-1507

容量 800 ㍓、126,000 円

間口 1,500×奥行き 753×高さ 1,036 ミリ

◇DPRA-1807

容量 1,000 ㍓、147,000 円

間口 1,800×奥行き 753×高さ 1,036 ミリ



DPRA-1807

<発売日>

2009 年 9 月 1 日

<商品特長>

①ゴミ投入時の利便性の向上

- ・大きな取手と全開できる投入口で、ゴミの出し入れがしやすい。
- ・正面パネルを前傾斜にし、さらに下部の蹴込部分に隙間を設けることにより、ゴミ袋を投入する際、本体に衣服が触れたり、つま先が当たりにくい。



大きな取手と全開できる投入口



蹴込部分の隙間

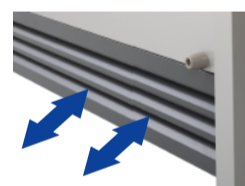


前傾斜の正面パネル

1/2

②清潔保持の向上

- ・傾斜をつけた床板により排水性が向上し、汚れが溜まりにくく掃除がしやすい。
- ・通気口をガラリにしたことで、中のゴミ袋が外から見えない。



換気ガラリ

③耐久性の向上

- ・高い耐食性を持つ、アルミ・亜鉛合金めっきのガルバリウム鋼板を採用。
(一部枠材を除く)

④景観に調和するシンプルなデザインと落ち着いた色調。

<販売目標>

初年度：50 台/月、次年度：200 台/月

<開発の背景>

小型ゴミ収集庫は、ゴミの分別細分化や猫やカラスによる散乱防止、周辺環境への美化意識の高まりに加え、自治体の補助制度の普及もあり、集合住宅や小売店などを中心に年々販売量が伸びていると推測される。

当社では平成 6 年からダストピットの商品名で市場参入し、現在、小型 6 タイプ 14 機種と大型 3 タイプ 26 機種を展開しており、平成 20 年度の実績は、販売数量約 12,000 台、売上金額約 10 億円となっている。(売上金額対前年度比約 120%) 今回の新機種開発では、ダストピットを使用したことのある主婦にグループインタビューを実施。ここで出された意見を参考に改良を加え、売れ筋サイズの 2 機種で市場投入した。

また、当社は環境対策の観点から製品の耐久性向上を進めており、本商品にも高い耐食性を持つアルミ・亜鉛合金めっきのガルバリウム鋼板を採用した。

ダストピットの新製品発売は、平成 17 年以来 4 年ぶりとなる。

<今後の方針>

環境問題を背景に、行政等の取組みも進められており、今後も着実な伸びが予想される。

開発面では、今後も利用者の意見を積極的に採り入れ、更なる機能アップやサイズ展開、差別化を図りシェアアップを目指す。

営業面では、官公庁や設計事務所、マンションデベロッパーなどへの PR 強化を図っていく。

以上